

Morita Mamoru Report vol.13 2024.6



松井孝治 新市長 誕生

京都と子どもたちの明るい未来を守る!!

2月4日投開票
京都市長選挙

当選

突き抜ける
世界都市京都

2月4日投開票の京都市長選挙において、無所属新人の松井孝治氏（自民・公明・立憲・国民推薦）が、福山和人氏（共産支援）ら新人4人を破り初当選しました。

今回の京都市長選挙は、門川大作市長の引退を受け、16年ぶりの新人対決となりました。昨年9月には当時、自民党の京都府議会議員であった二之湯真士氏が無所属での立候補を表明、告示直前には、村山祥栄氏に架空。パーティ疑惑が浮上し、日本維新の会などが推薦を取り消すなど、情勢が目まぐるしく変化する異例の展開となりました。

観光課題対策や財政再建、若者・子育て世代の市外流出などが大きな争点となり、激しい論争が繰り広げられました。松井氏が接戦を制しました。

3月1日に開会した京都市会で松井市長は、子育て環境の充実や、力強い産業政策を進めて、京都のまちの活性化に取り組んでいくとし、「突き抜ける世界都市京都の実現」にまい進すると決意を述べました。

松井孝治 略歴

昭和35年京都市生まれ（63歳）
中京区の旅館の次男として生まれ
高校生まで旅館の一室で育つ
京都市立日彰小学校、洛星中学・高校を経て、昭和58年東京大学卒業
昭和58年通商産業省（現経済産業省）入省
平成13年～25年参議院議員2期
内閣官房副長官などを歴任
平成25年慶應義塾大学教授



京都市長選挙
2月4日投開票
(投票率41.67%)

松井 孝治	177,454
福山 和人	161,203
村山 祥栄	72,613
二之湯真士	54,430
高家 悠	2,316

令和6年度予算

施策

R5年度に続き
収支均衡予算

令和6年度予算は、収支均衡の財政運営に加え、過去負債の計画的な返済を行っており、持続可能な行財政運営の確立に向けて着実に前進しています。

当初予算は、市長選挙から間もなかったため、「第一次編成」と位置付けられ、主に義務的な事業や継続事業が計上され、松井市長が選挙で掲げた公約など、政策的な事業等に対する追加予算については、「第二次編成」として計上されました。

第一次編成では、能登半島地震を受けて、建物の耐震化や、避難所環境の改善などの「防災・減災対策」に重点を置き、インバウンド需要が回復する中で、観光特急バスの新設や、JR京都駅の新たな駅舎及び自由通路の整備など「観光課題対策」も強化しました。

第二編成では、既存住宅の取得支援に最大200万円を交付する制度を創設し、公園遊具の更新箇所を増、トイレの様式化を加速するなど、若者・子育て世帯の移住・定住を促進するものとなっています。

3月市会 代表質疑

提言 観光の恩恵を 市民に還元

新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり、観光が順調に回復する一方、一部観光地における混雑やマナー問題、市バスの混雑などが再燃する中で、松井市長は「観光が市民を圧迫してはいけない」として、市バス観光専用路線の実現や市バス・地下鉄の市民優先価格の導入、宿泊税の引き上げなどを方針に掲げています。

私は、3月市会の代表質疑において、観光の恩恵を目に見える形で市民に還元するための対策について、自民党京都市会議員団を代表して、松井新市長に質問しました。

まず、京都市民に限定して運賃を割り引く「市バス・地下鉄の市民優先価格」の実現について取り上げました。現行法では、利用者によって運賃に差を付けることができない上、市民と市民以外を識別するための仕組みや、民間バス事業者の対応も考えなければなりません。これらの課題をどのように克服していくのか質問しました。

これに対し、坂越副市長からは、ご指摘の課題を解決し、市民優先価

格を実現するには、一定の期間を要すると考えていますが、国土交通省との議論など、あらゆる検討を行い、全国初のパイロットプロジェクトとしてチャレンジしていくとの答弁がありました。

次に、宿泊税を引き上げ、その税収を、市民が観光の恩恵を実感できる施策に充てるべきとの提案を行いました。

松井市長は、宿泊税の引き上げと観光課題対策への有効活用を実行に移すべく、速やかに有識者会議に諮問し議論を進め、来年度の早い段階で結論を出してまいりますとの決意を示した上で、全ての税率を含めた制度の見直しを検討し、観光課題の解決をはじめ、観光を通じて市民の暮らしや地域の豊かさ、持続可能なまちづくりにつながるような施策に活用し、京都の更なる発展につなげていくとしました。

これからも観光課題解決に向けて提言を続けていきます。



観光特急バス

新設 市民利用と観光利用 の棲み分けを目指す

京都市交通局では、6月のダイヤ改正に合わせて、市民利用と観光利用の棲み分けを目的として、「観光特急バス」を新設しました。

運賃は500円で、定期券、回数券、敬老乗車証は利用不可ですが、地下鉄・バス1日券や修学旅行1dayチケットでも乗車可能とし、観光客を観光特急バスへ誘導します。

運輸ルートは、京都駅から清水寺を経由して、祇園や銀閣寺を結ぶ「EX100」、京都駅と清水寺を結ぶ「EX101」の2系統とし、速達性を高めるため、停留所を絞った上で、年間を通じて土日祝に運行し、定期路線バスと合わせると、ピーク時間帯は概ね3〜4分間隔の運行頻度を確保します。

また、松井市長は先日、当面の間、市バスの運賃値上げを据え置く方針を表明しました。新型コロナウイルスによる経営状況の悪化、原油高やバス運転士の担い手不足などで「市バスの運賃値上げは不可避」との状況でしたが、国からの財源を獲得したことにより実現したものです。

森田守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ
平成10年 同志社大学法学部法律学科卒業
平成10年 (株)セブン-イレブン・ジャパン
平成16年 二之湯智参議院議員秘書
平成27年 京都市議員初当選(現在3期目)
現在 環境福祉委員会副委員長
自民党京都府連政調会長
家族 妻・娘3人・息子2人・猫4匹
趣味 キャンプ・スキー・マラソン

京都市議員 森田守 事務所

〒615-0027
京都市右京区西院西三蔵町9-1
Connect西院2F
T&F 075-313-0023
M moritamamoru.kyoto@icloud.com



自民党



Homepage

Facebook

X

Instagram